

# プレ国民文化祭・やまぐち 2006

はじめて  
やってみたよ～



千葉県から帰省していた新野巧君（6歳，写真左）と光君（2歳，写真右）の二人は，エナメル絵付けに挑戦。お皿に自分と弟の顔を描いた巧君は，「絵の具を塗るのが楽しかった」と，完成品を手にもニコリ。



サンドブラストに挑戦した伊賀美由紀さん（11歳，新生町二丁目）。「初めてだったけど，上手くできたよ」と，自分のイニシャル“M”も描き入れて，世界で一つだけの小物入れを完成させました。



お母さんの美加子さんと一緒にサンドブラストを体験した小宮司君（8歳，周南市）。虎や狸の絵柄など，「動物が大好き！」という司君ならではのコップができあがり，大満足の様子。

来年11月，国民文化祭が山口県で開催されます。その一年前のプレイベントとして，8月20・21日の両日，きららガラス未来館で「ふれあいガラスフェスタ」が開催されました。より多くの人にガラスの魅力に触れてもらいたいと願って開かれたこのイベントに，2日間で1,800人を超える人が訪れ，多彩な催しを楽しみました。

## エナメルガラス絵画展



自分のつくった作品を，お母さんと見に来た国本朱理さん（8歳，沖中川）。妹の優理さん（5歳）と壁一面を埋めるガラス絵画を見上げて，「こんなに大きな作品になってびっくり」。二人でしっかり記念写真を撮りました。

▶朱理さんが描いた作品（一番手前の板ガラス）。

小野田青年会議所主催の「きららガラス絵画展」で選ばれた，市内の小学生550人が，エナメル絵の具を使って板ガラスに絵を描きました。この作品，もちろん，近づいて一つひとつの絵を見ても面白いのですが，少し離れて遠くから全体を眺めてみると，市内の“ある風景”が浮かび上がってくるという，二度楽しめる，ユニークな作品でもあります。なお，この絵は来年11月の国民文化祭まで，きららガラス未来館に展示される予定です。

## 特別体験

▶ M.M Glass Studio のガラス作家・池本美和さん（未来館講師）や初・中級講座の修了生たちに教えてもらいながら，思い思いの絵柄を描いていきました。



予約なしで気軽にガラス制作ができるとあって，特別体験は大好評。当日は「サンドブラスト」と「エナメル絵付け」の2つの体験に，総勢212人の人が参加してくれました。子どもも大人も一緒になって，コップやお皿などに自分の好きな絵柄を描き，素敵な作品を作り上げていきました。